

「農業の6次産業化」という2次産業・3次産業を舐めた発言をよく聞くようになりましたが、そんなことを言っている生産者に限って、企業の農業参入に対して「企業に農業ができるはずねえ！」と言っていた人たちじゃないでしょうか？ 1+2+3=6ってあんたらは小学生かい!? 付加価値のない農業をやっている生産者が何をやっても経済的評価は2割がいいところで、÷5をして1・2次産業っていうのが正しい計算になります。それでも前向きに行動すれば2割増えたことで評価はしていいでしょう。まあ、偉そうなことを言っている僕自身が農業の川上から川下までついでについて、どれも中途半端なことをしているから、経済的評価として赤字を垂れ流しているという現実が今言ったことを実証しちゃっているんですがね。

2次・3次に参入しようとすることは農業を活性化する上で非常に役立つんですが、あまりにも安易過ぎるんです。今までになかった生産者だからこそできる付加価値を2次・3次にも付けてほしいのです。そして、その付加価値のある6次産業の計画ができたなら、それを伝えるための努力を並行して進めていただきたいのです。良いものを創って、良い宣伝をして、良い流通で販売しな

ければ、経済的結果は得られないからです。しかし良い商品を作って宣伝が行き届けば、良い流通を選択する権利が生まれます。と言うことは、良い商品を作っている生産者ならば、後は良い宣伝をすれば全て上手く行くという仮説が立てられます。

というわけで、今回はまず手始めとして今流行のツイッターの利用をお勧めしたいんです。ツイッターをよく知らない人でも、他人の「つぶやき」を読んで何が楽しいのやら、と思われる程度の知識はお持ちではないでしょうか？ たしかにツイッターは何の役にも立たないような暇人同士の「つぶやき」で広まったものだと思います。しかし、利用者が100万人を超えた辺りから、暇人ではなく、その暇人を消費者と捉え、広報活動として活用する有名人や企業が参入することにより「つぶやき」の価値が上がり、今では1000万人の市場になっています。

初心者ですので、詳しくは解説できませんが、IT音痴の僕が始めてみて感じたツイッターの特性を簡単に説明させていただきますと、特徴は以下の3点です。①140文字以内という制限があるので筆不精にも苦にならない②フォローワーと言われる自分の「つぶやき」を必ず読んでくれる人物と人数が把握できる③メ

ールでいうと一斉配信のような機能ですが、不特定多数に配信していて、受けた側が返信する義務感を感じることなく自由に返信できる。

ソフトバンクの孫正義さんですと、60万人以上がフォローワーをしています。たまに見に来る人を入れれば100万人位が、毎日の孫さんの「つぶやき」を聞いているということなんです。ちなみに僕は始めて1カ月で2000人ちよつと、寂しいです。

農業生産者は、このツイッターを使って、トレーサビリティに利用できます。栽培記録として使用してください。生産者のこだわりから生まれる農作業を毎日140文字で記録にして、フォローワーに伝えるのです。収穫されるまでの苦勞を伝えることは最大の味覚アップに繋がります。直売をしている生産者は、野菜の出荷情報をあなたのお得意様にタイムリーに伝えることが可能です。勿論、お客様からの感想や意見も簡単に聞けるようになることでしょ。フォローワーは工夫次第で増やせるようです。一般個人でも数千のフォローワーをされている人はざらにいます。うちの社員もプロからレクチャーを受けさせましたら、急激に増やしていますので、皆さんも本で勉強してフォローワーを増やし、伝える努力をしながら、売上を伸ばしてください。

国立ファーム有限会社

高橋
がなりの

アグリのうさぎ

~早く「虎」に変わるんだ!~

第45回

農業生産者はTwitter(ツイッター)を始めましょう!